

ウンシュウミカンの1年生2本主枝大苗の双幹形仕立ては早期に収量を確保できます

背景

初期生育に優れている1年生2本主枝大苗については、ウンシュウミカン苗を双幹形に仕立てた場合の収量への影響が不明でした。

成果の内容

1年生2本主枝大苗を双幹形に仕立てると、樹冠の拡大が早く、収量を早期に確保できることを明らかにしました。



定植時



定植半年



定植3年目

品種	苗の種類	定植2年目		定植3年目		定植4年目	
		樹冠容積	収量	樹冠容積	収量	樹冠容積	収量
		m ³	Kg/樹	m ³	Kg/樹	m ³	Kg/樹
興津早生	1年生2本主枝大苗	2.3	-	4.0	9.4	5.3	22.8
	主幹苗(慣行)	0.3	-	2.1	0.9	4.4	3.7

1年生2本主枝大苗は、植付け時の葉数が多く、慣行の主幹苗と比較すると、定植3年目には収量が大幅に増加します。

【研究部のコメント】

○定植後、早期に収量を確保できる本技術が、生産者の経営安定に繋がれば幸いです。



(果樹部)